

平成30年度第72回栃木県芸術祭美術展審査結果（洋画部門）

○ 応募点数	151点	[129点]	うち25歳以下	6点
○ 入賞点数	10点	[9点]	〃	1点
○ 入選点数	89点	[92点]	〃	1点 * []内は昨年度

（審査寸評）

今年度の出品総数は昨年度から22点増の151点となった。そのため、入落の決定に際しては苦渋の決断を迫られる場面が多々あった。出品作全体を見渡すと純粋な抽象絵画は少なく、具象絵画が主流を占めた。その中で受賞作は制作者のテーマが世界観に反映され、技術的にも洗練されたものが選ばれた。今回残念ながら入選が適わなかった作品にも魅力的なものが多々あった。次回に期待する。

芸術祭賞の「パンゲアの記憶」は、後ろ姿の人物とその背景に宮殿とプロテアの花が描かれている。現実感漂う人物と幻想のような宮殿と花の対比が面白く、ある種の文学性を感じる作品となっている。複層的に配置されたモチーフを表現上調和させるのは技術的に困難を伴うが、この作品では線の強弱や濃淡、スパッタリングによるグラデーション、配色を巧に活かしている。

準芸術祭賞の「未来」は、間の取り方に工夫を感じる。地面に四つん這いになった子どもが落葉に手を差し伸べた一瞬の情景を捉えているが、凹凸のあるマチエールや中間トーンで統一された落葉の描写により、永遠性をも感じさせている点が評価できる。子どもの手の中の落葉の彩度を最も高くしている点も工夫を感じる。

同じく準芸術祭賞の「石のポンプ小屋」は、非常に重厚なマチエールが特徴の作品である。大谷石をそのまま表面に貼り付けたかのような印象を受けた。その場に何年も動かず存在した古びたポンプと、今し方飛来したカラスの躍動感の対比が的確に表現されている。

U25賞の「moth」は、薔薇が咲く薄暗い空間を背景に不気味な蛾が描かれている。しかし、その目は明るい黄色で彩られており、不安な状況の中で希望を持って生きる意志を感じるところがこの作品の魅力に繋がっている。

〔入賞者名及び作品名〕

○芸術祭賞

こ ばやし まさ こ
小 林 昌 子 (宇都宮市) 「パンゲアの記憶」^{きおく}

○準芸術祭賞

おおねだ とみ こ
大根田 登美子 (宇都宮市) 「未来」^{みらい}
やま かわ きよ み
山 川 喜世三 (大田原市) 「石のポンプ小屋」

○芸術祭奨励賞

なが しま みつ こ
長 島 美津子 (宇都宮市) 「風と流れのKonzert 0 p.2」^{かぜ なが こんつえると おーぼす 2}
たか 橋 てつ お
高 橋 徹 夫 (足利市) 「わたらせ暮色」^{ぼしよく}
そうとめ ひろ こ
五月女 宏 子 (宇都宮市) 「私の卓上」^{わたし たくじょう}
なか やま みつ ひろ
中 山 光 広 (宇都宮市) 「オトヲキルヒト」
すず き こう いち
鈴 木 光 一 (宇都宮市) 「うつわ」
しば た たか し
柴 田 貴 史 (宇都宮市) 「最高の晩餐Ⅱ」^{さいこう ばんさんつー}

○U25賞

いし かわ こと ね
石 川 琴 音 (栃木市) 「moth」^{も す}

平成30年度第72回栃木県芸術祭美術展審査結果（彫刻部門）

○ 応募人数	23人	[15点]	うち25歳以下	5人
○ 応募点数	27点	[17点]	〃	6点
○ 入賞点数	8点	[7点]	〃	1点
○ 入選点数	17点	[10点]	〃	4点 * [] 内は昨年度

(審査寸評)

今年度の彫刻部門には27点の応募があった。前年度よりも数的に増加し、大型作品も多かった印象がある。特に初出品と20歳代の若手の作家が目立ち、彫刻部門全体の印象に大きな影響を与えており、質量共に例年にないボリュームが感じられた。

芸術祭賞の「鞆の人」は木彫に彩色で仕上げられており、人物像の頭部が鞆でできた胸像である。一見単なる立体コラージュのような作品に見えるが、鞆のベルト部分や金具の要素を顔の表情に重ね合わせており、ユーモラスな表情にも見え、木彫の堅実な技術と現代的な表現で丁寧に仕上げられている。

準芸術祭賞の「Toboggan」はテラコッタ（素焼き）による数匹のペンギンが配置された作品で、動物の表情を群れ全体で表現した愛らしい作品である。

U25賞の「Andromeda」は木材と針金を組み合わせた抽象作品である。流木の柔らかなラインを針金のシャープなラインで包み込む構成で作られたこの作品は、非常に単純ではあるが造形のリズムやバランスをうまく取り入れている。荒削りではあるが表現の自由さと今後の可能性が期待できる「U25賞」にふさわしい作品である。

[入賞者名]

○芸術祭賞

いし やま ゆり か (宇都宮市) かぼん ひと 「鞆の人」

○準芸術祭賞

いち むら たまみ (大田原市) とぼがん 「Toboggan」

○芸術祭奨励賞

ひら い たか のり (栃木市) つな 「ピース—繋がれていたモノ—」

こ ぼやし もと き (那須塩原市) じゅんれい 「巡礼」

すず き いずみ (栃木市) 「ツボミノユメ」

かい てつ なり (鹿沼市) みらい しんねんごう いわ 「未来へ（新年号を祝う）」

さい とう けい いち (宇都宮市) ぜくう くも 「是空の雲」

○U25賞

あくつ しょう こ (小山市) あんどろめだ 「Andromeda」